

文化庁との福山駅前広環整備工事（地下送迎環）に係る埋蔵文化財の取扱い協議

1 日時 2007年（平成19年）12月11日（火）15：00～17：00

2 場所 文化庁

3 出席者 文化庁 記念物課 主任文化財調査官（史跡部門）

文化庁 記念物課 文化財調査官（史跡部門）

文化庁 記念物課 主任文化財調査官（埋蔵文化財部門）

文化庁 記念物課 文化財調査官（埋蔵文化財部門）

広島県教委文化課 課長補佐（課長代理）

福山市教委文化課 課長 次長

4 内容

【文化庁】 記念物課長

与党の国会議員がかかわっていることであり、きちんと対応が必要である。私も出席して状況を聞きたいが、都合で難しく、担当が対応するのでよろしく願います。

<会議室にて>

【文化庁】 本日は、①これまでの経過 ②調査の概要 ③工事の概要について説明していただきたい。

（福山市） これまでの経緯、調査の概要、工事計画の概要を説明（福山市教委文化課 課長）

工事の進捗状況、福山市保護審議会提言内容等について、新聞記事で補完しながら説明

【文化庁】 第1期の発掘調査が終了した場所は今どうなっているか。工事が進行しているのか。

（福山市） 埋め戻した後、土壌改良し覆網板で覆い、タクシープールとなっている。すべての発掘調査が終了しないと、掘削は行わないと聞いている。

【文化庁】 市長は「可能な限り残す」と言っているが、具体的にどう残すかの話は進んでいるのか。

（福山市） 地下送迎環の躯体が建設される場所については、遺構は残らない。

（福山市） 躯体南の石垣列を現状で残す方向で考えている。（図を示して説明）

【文化庁】 「可能な限り」とは、このことなのか。いつ作成したものか。

(福山市) 市の都市部(都市整備課)が1~2週間前に作成したもの。

【文化庁】南の石垣一列は残るべくして残る場所であって、これだけでは市長の言う、「できる限り残す」ことにはあてはまらない。工夫しなくても残る場所である。

(福山市) これから発掘調査に入るので、その成果を見ながら検討することになっている。

【文化庁】教育委員会は、どう残そうと思っているのか。都市整備課の計画をのむだけで、教委としての意志が見えない。ここは残し、ここは設計変更すべきといった意見がない。工事のための発掘調査にすぎない。開発事業と文化財保護の調整になっていないのではないか。

【文化庁】文化財サイドの考え方がきちんと出されていない。互いに意見を持ちより、それに立脚した意見交換をするべきではないか。市長の「できる限り残す」という言葉に教委は答えるべきではないか。検討しなくてはいけないのではないか。

(福山市) 全体をみながら、都市部と協議していく。市教委としては、まだ、まとめはしていない。

【文化庁】市民の声に動かされて教委が動くのは、流れが反対。市民に語らせるのでは行政になっていない。

【文化庁】文化財協議に対する回答を教えてください。

(福山市) 「福山城の正面入り口に当たる三之丸の追手御門東側で、東西に延びる外堀(幅35m~43m)及び外堀石垣・二重櫓・御水門などの城郭遺構が存在している可能性が高い地域であり試掘が必要、遺構の存在が明らかとなった場合は発掘調査が必要。調査時期・方法は別途協議」という内容である。

【文化庁】この時点で市民の声は想定できなかったのか。この仕事をしていたらわかるはず。重要な遺構の存在が想定されていたにもかかわらず、止める状況ではなかったのか。

(福山市) 発掘調査にいたるまでの経過のなかで、市の文化財保護審議会や県とも相談しながら、その意見や提言を踏まえて、発掘調査などを進めてきた。本格的発掘調査によって、石垣の威容が判明して、市民の関心が高まった面もあり、現在の保存運動などの動きにつながったと思っている。これからどう取扱うかは、今後の調査の進展に併せて検討してゆくことになる。

【文化庁】なぜ地下に送迎場を造るのか

(福山市) 当初は地上計画であった。一般車両がUターンできないことや、市民の安全・安心の観点で、高齢者や身体障害者に配慮した計画の見直しであり、駅前整備の機能強化に向けた経済界から強い要望があった。駅前再開発に対する国交省の予算もついた。

(福山市) 地上から地下になったことなどの経過については承知していなかった。

【文化庁】この巨大なプロジェクトで、しかも福山城遺構があるのが明らかな場所であるのにプロジェクトの中に文化財関係者抜きで話が進められたというのは考えられない。当然、文化財関係者もプロジェクトに参加して、検討すべきプロジェクトである。

(福山市) 2007年(平成19年)9月27日の中国新聞に経過が載っている。

【文化庁】教委に地下が掘削できるかどうかの打診もなかったのか

(福山市) 2005年(平成17年)5月頃に知ったように記憶している。

【文化庁】その時点では知ったわけだから、その時点でどうなっているのか、教委は打診に行っておくべき。これがないから現在の状況になっている。過去にあった最悪のケース。文化財の取扱いについては、近年、こうならないように対応できるシステムに全国的になっているはず。流れにみをまかせたらいいものではない。平成17・18年に今に至った根源がある。都市部も教委も認識すべき。今後も開発により石垣遺構が出てくるはず。庁内の連絡・連携の体制整備をする必要がある。

【文化庁】県教委の発掘の勧告には従っている状況か。

(福山市) 今のところそうだ。

【文化庁】現在、教委は都市部とどう調整しているのか。

(福山市) その都度協議している。

【文化庁】保存運動をどう受け止めているか。住民の声は無視できないだろう。10万人の署名は非常に重い。文化財で市長を降りた人もいる。部下がきちんと言うべき。市長の立場を考えてどこに落としどころをもっていくかを考えないと、正面突破では大変なことになる。どうゆう妥協点を見出せるのか考える時である。文化財保護の原則論に立ちながら、妥協点をさぐる作業が必要である。

【文化庁】保存団体の案はどうか

(福山市) JRの土地に入るため調整が困難

(福山市) 歩行者が駅から遠くなる

【文化庁】駅に近いタクシー乗り場やバス乗り場ばかりではない。代替案はないのか。地表でどうにかならないのか。都市部の機能性に対する文化財サイドの意見を述べるべき。歩行者の問題も距離が問題ではない。動く歩道なども考えられる。石垣を壊して工事をする時代じゃない。所によっては探している。教委は様子を見ているだけのような気がする。

【文化庁】福山城は海城で大手筋にあたり、舟入状遺構は福山城を象徴する遺構である。埋蔵状況がわからなかったのも事実だが、発掘調査や試掘調査で新しい情報が得られたのであるから、開発部局に働さかけるタイミングであるのではないか。良好な残存状況がわかった

今、もう一度新しいテーブルについてもらう。文化庁としても、これだけの遺構が全くなくなるのは見過ごせない。仕切りなおす場を設定すべきと考える。

【文化庁】文化庁としても、史跡の部分と一連の重要な遺構と考えている。基本的にはどこの石垣も同じ重要な価値を持っている。国指定追加も視野に入れている。

(広島県) 全国的にみて、駅前でこのような事例はないか。

【文化庁】三原城は駅に近い城で、最近は買い上げもしている。徳島城は駅周辺開発を断念し、国指定にした。駅周辺だから開発しなければならない発想はおかしい。ただ埋めておけばよいというものでもない。

【文化庁】広島県としても県東部の歴史を考える上で貴重な遺跡であることを考えてほしい。市にまかせきりではいけない。市内部だけで立ち行かないのはわかっている。県として応援してあげてほしい。市教委は市が計画したものをどうしていこうかという悩みもわかる。

【文化庁】福山市は草戸千軒町遺跡や県立博物館がある全国的に有名な市。このままいくと、市の信用を失う。

【文化庁】良好な残存状況がわかった今、もう一度テーブルにつく努力をしてもらい。これから調整が可能かどうか、他の手段があるかないか検討を重ねてほしい。検討を重ねてここだけはやむなく壊すというのはしかたがない。

【文化庁】文化財のことを語れるのは教委しかない。重要性を説くべき。今後、教委が批判される。

【文化庁】城内に駅がある。それを逆手にとって城を利用し、全国発信できるまちづくりをしてほしい。簡単に壊すのは行政に郷土の誇りがないのではないか。誇りが無ければまちづくりはできない。全国どこの町でもやっているような特色の無いことをやってもしかたがない。知恵をしぼることが大事。史跡部分だけでなく、全体を考える必要がある。今あるもの(史跡部分)を護るだけでは、まちづくりはできないのではないか。

【文化庁】研究会等の学術団体からの要望はないのか。

(福山市) いまのところ無い

【文化庁】学問サイドからの指摘があると、ますますややこしくなる。行政としてやるべきことはやっておく。教委は自信を持って、市の考えに同調するばかりでなく、都市部に協議に行くべき。教委から文化財の保護を提起しておかないと、事業が批判されたとき開発サイドからも「なぜ、そのとき言ってくれなかったのか」といわれて、最後には教委が批判されることになる。事業は、補助金なども使ってやっているのではないか。

(福山市) 国交省のまちづくり交付金で行っていると聞いている。

【文化庁】国交省も遺跡を活かしたまちづくりを推進している。本省と相談しているのか。国交省の補助金で石垣を壊したとなると国交省もまずいはず。

【文化庁】後手、後手に回っていることの反省をし、県も一緒になって話し合いの場に入ってはどうか。権限移譲をしたから市に口出しできないというスタンスではいけない。福山城を県としてどう認識しているのか。県としても重要な城跡であるはずだ。権限移譲をしたことによって文化財保護のためにならないことではいけない。

(広島県) 福山市は移譲事務ができる体制と判断し、移譲した。

【文化庁】教委も市内部にきちんと指示できない部分もある。県としての協力を。

【文化庁】今回の遺跡は、国史跡と地下でつながっている同等の価値がある遺跡として考えている。とにかく、もう一度、協議のテーブルを設定してもらえよう努力してほしい。文化庁としても現地に行くことも考えている。

(広島県) これまでの成果を踏まえて、県としても市と共に協議の場を設定して、あらためて取扱いについて協議するよう努力する。